

町長メッセージ

行政と住民の協力が必要な時代

もし、皆さんに「地域のこと、産業のことは全て行政がやるもの」という考えがあったら、今日からは「地域を守るには、行政と住民の協力と役割分担が必要」という考え方に変えていただきたいのです。国から町へ配分されるお金が毎年数億円単位で減ってきており、限られたお金をどう有効に使っていくかをいっしょになって考えていく必要があります。まさに住む人の連帯と創意工夫が必要な時代になってきたのです。

いっしょに町の運営をしていきたい

4月から青のごみ袋(大)が10枚780円になります。「それは高い」と思われるかも知れませんが、私も「高いな」と思います。しかし今回、青の袋だけを値上げするには、ごみの分別を各家庭で進めてもらい「燃やせるごみ」を減らしていきたいという考えがあります。今、松前町は、ごみ処理で年約2億3千万円かかっており、このうち「燃やせるごみ」の重さを松前全体で30%減らすと年間2千万円のお金が浮くことになります。これを皆さんとの話し合いによって、まちのために使っていきたいと思っています。行政としては、ごみの排出自体を抑制するしくみなど、皆さんが気軽に「ごみの減量化に取り組める環境づくりを進めますので、ご協力をお願いします。私の町政運営の基本は「町の将来は、みんなで考え、みんなで取り組もう」とい

うことです。役場と地域社会がいっしょになって、「ふるさとを将来につないでいく」という大きな使命を果たしてまいります。

(追記)

先日、松前温泉で、松前高校の野球部員と会いました。彼らとは昨年の夏以来でしたが、声をかけてもらって心温まる思いがしました。

「松前温泉は身体が温まる」と評判ですし、せつかくの町の財産ですので大いに利用していただきたいと思えます。松前温泉の年間利用者は5万人程度ですが、これを今年には7万人に増やそうと、いろいろアイデアを出していく考えです。体の芯まで温まる松前温泉で心と体を休め、明日への活力を養ってください。

松前町長 前田一男

